

登録コード	A3590319	開講年度	2026				
授業科目	科学英語					担当教員	小西 博昭
英文授業名	Scientific English						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前加修対象】専門的な知識や研究能力を修得している					興味ある生命科学分野の英語学術論文を検索できる。	
	【2022年度以前加修対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					生命科学分野において歴史的発見に結び付いた学術論文を英語で理解する。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前加修対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					生命科学分野の一般的英語学術論文中のデータについて理解することができる。	
	【2024年度以前加修対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					生命科学分野の一般的英語学術論文を読みこなすことができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	高等真核生物（特にヒト）の細胞情報伝達機構に関する基本的な教科書の内容を英語で理解する。その後、その知識に基づいて、国外の古今の国際学術論文読解と理解にチャレンジする。また、その内容について他者に一部英語で発表し、プレゼンテーション能力を向上させる。						
(5)授業計画	1．高等真核生物（特にヒト）の細胞情報伝達機構を英語で理解する 2．生化学、分子生物学界の権威高い国際学術誌のオンライン検索 3．近年、ノーベル賞（医学・生理学、化学）の題材になったオリジナル論文の読解 4．高等真核生物（特にヒト）の細胞情報伝達機構に関するホットジャーナルの読解 5．各自理解した内容の発表と授業アンケート						
(6)自主学習の指針	各自の研究結果について国際学術誌への投稿を目指す意欲の程度 1、生命科学の分子機構の基礎を英語で理解できている 2、高等真核生物（特にヒト）の細胞情報伝達機構を英語で理解できている 3、近年のノーベル賞（医学・生理学、化学）の研究内容を英語で理解できている 4、国際学術誌の論文発表できるような研究テーマを見出すことができる						
(7)成績評価の基準	修士の間に上記4まで遂行できればS 3までであればA 1、2までできればB 1までであればC それ以下はD						
(8)事前事後学習の内容	特になし						
(9)テストやレポートの予定	心身ともに健康であること						
(10)成績評価の方法	対面、メールいずれも可						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時対応します						
(12)履修上の注意	なし						
【教科書】	特になし						
【参考書】	これまで当研究室で発表してきた論文など						